

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年2月26日（火）10:00～11:30

美蔓福祉館

出席者：4名

説明員：・町長、鈴木企画課長

事務局：佐藤企画課長補佐、大和田企画統計係主査

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○町長公約には載っていたのか。

→（町長）

管内の自治体に配慮する必要などがあつたため、公約には載せていない。また、町名変更は、公約に掲げた施策を効果的に進めていくための戦術だと捉えている。即効性はないと思っているが、町名変更をきっかけに、町の基盤をつくり、将来につながるまちづくりをしたい。

○周りの人たちからも賛否の声を聞いていて、自分も悩んでいるし、他に悩んでいる人もたくさんいる。

→（町長）

北海道の十勝にある清水町ということをPRしたい。今の清水町だとこれまでと同じ。伝わる名前にして様々なことを進めるための基盤を整備したい。

○賛成が多かった場合、どういったかたちでアピールしていくのか。

→（町長）

すでに新聞やメディアで取り上げられているが、こうしたことですでに提案した効果が出てきていると思っているし、町名変更を実現できれば、今後さらに注目を集めることになると思う。これまでも企業や大使館等に直接出向き、町の魅力をPRするための取り組みを行っている。加えて、町名を変更することで、町の存在を広く知ってもらい、企業誘致やふるさと納税に繋げたい。

○町名変更するタイミングはむしろ遅かったと思う。

→（町長）

ネットで気軽に検索できる時代になったので、より町の名前を分かりやすくするのが今だと考えているし、このタイミングで未来のための投資をしたい。

○農協が先に変えていたので、町名変更に違和感は全くない。それよりも今後どう活かしていくかが重要だと思う。経費は1回限りだし、今後十分に取返せると思う。

→（町長）

もし町名変更になった場合は、先頭に立って話題を作っていきたい。

○住民説明会では反対意見が多かったと聞いているがどうだったのか。

→（町長）

反対意見を含めて様々なご意見があった。今後もどちらの意見にも耳を傾けたい。

○地場製品のPRもあるし、農協と協力しながらやって欲しい。農協と町とはいつもかみ合わない印象がある。

→（町長）

これまでも農協の組合長とは一緒にPR活動等を行っており、まちづくりのパートナーだと思っている。今後も継続してやっていきたい。

○変更になった時は、北海道物産展等で清水の事業者をたくさんPRして欲しい。

→（町長）

今年の9月に東京商工会議所で清水町フェアを実施する。良い機会になるので、大きくPRしたい。十勝清水町フェアみたいなことが出来るように企業とも話をしている。今までにない展開を作りたい。

○クラウドファンディングや、インフルエンサーなどを活用した情報発信など、まだまだ面白いことがたくさんできると思う。

→（町長）

これまではテレビや新聞での発信がメインだったが、今は個人でも発信できる時代となった。そういったことに長けている人を今後呼び込むことも考えている。

○学校の名前はどうか。

→（鈴木課長）

例えば、清水町立清水小学校は十勝清水町立清水小学校となる。高校は今のままで清水高校となると思われる。

○ふるさと納税を増やすため、どういったことに使われたのかもPRした方がいい。町のHPを見ただけではわからなかった。

→（鈴木課長）

町のHPには寄附報告書というかたちで掲載しているが、一目でわかるようにはなっていないので、工夫したい。

5 閉会